

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

Birt-Hogg-Dubé（以下、BHD）症候群関連肺嚢胞（はいのうほう）

における pulmonary interstitial glycogenosis 細胞に関する研究

1 研究の対象

2002年4月1日～2024年4月30日の間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院病理診断科で、肺の手術検体について BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}の病理診断を受けられた方

2 研究目的

Birt-Hogg-Dubé 症候群は、*folliculin* (*FLCN*) 遺伝子の異常によって引き起こされる皮膚良性腫瘍、肺嚢胞^{はいのうほう}、腎腫瘍を特徴とする遺伝性疾患です。肺嚢胞は多くの BHD 患者に認められ、気胸の原因となりますが、BHD 関連肺嚢胞^{はいのうほう}の性質や発生するメカニズムについては不明な点が多く存在します。

一方、pulmonary interstitial glycogenosis（以下、PIG）は、グリコーゲンを含んだ未熟な細胞が肺胞に存在することで特徴付けられる稀な新生児の肺疾患として 2002 年に報告されました。これまでの報告から、PIG が肺の形成異常に関連してい

る可能性が示唆されていますが、BHD 関連^{はいのうほう}肺嚢胞と PIG の関連については、十分に検討されていません。

本研究では、BHD 関連^{はいのうほう}肺嚢胞と PIG の関連について、BHD 関連^{はいのうほう}肺嚢胞やその他の^{はいのうほう}肺嚢胞の病理標本を詳細に検討します。これにより、BHD 関連^{はいのうほう}肺嚢胞が生じるメカニズム解明や診断精度の向上につながることが期待されます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料・情報は千葉大学大学院医学研究院診断病理学研究室及び横須賀共済病院、北海道大学病院に提供され解析が行われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

3 研究に用いる試料・情報の種類

手術時に採取された肺組織検体から作製された病理標本

診療録に記載されている年齢、性別、生活歴(飲酒・喫煙など)、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査、遺伝子検査結果など

4 研究組織

研究代表機関: 千葉大学医学部附属病院 研究代表者: 病理診断科 太田昌幸
参加機関: 12 機関(個別名はホームページに記載しています URL:)

5 情報の提供先・提供方法

上記試料/診療情報等を、BHD 関連^{はいのうほう}肺嚢胞と PIG の解析のために研究代表施設である千葉大学医学部附属病院へ郵送にて提供します

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎: 代表 011-261-5331 内線 4063)

研究責任者: 病理診断科 市原 真

問い合わせ担当者: 病理診断科 市原 真